

# 市民協働かわら版

No.25

発行：泉南市総合政策部政策推進課  
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―一  
TEL：〇七二―四八二〇〇〇四  
(平成二十八年七月七日発行)

六月二十二日(水)に平成二十八年度第三回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市役所1階多目的室で開催され、六名(市民四名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

今までこの「かわら版」は、発行している職員の視点で執筆していましたが、今回は参加者の方に「かわら版」の記事を書いていただくということになりました。今回執筆された方は、まちづくりに関心があり、市議会などの傍聴もされ、非常に熱心な方です。以下は、その方の視点による記事となります。

『サロンを開催して3年目を迎えました。

泉南市を住みよいまちにしようと、政策推進課が事務局となり、泉南市ABC委員会共催、市民主体でサロンを進めています。

毎月第4水曜日の午後1時30分より開催しており、参加された皆さんの熱意を感じています。開催場所は市役所、各地区で実施しており、市民の皆様の参加を歓迎しています。地方創生の時代に入り、行政が何とかしてくれるという時代は遠く過ぎ去りました。

また、少し高齢化が進みましたが、これからは市民の時代、出番です。このまま手をこまねていると、泉南市の人口が今の約63,000人から2060年には約44,000人に著減し、その結果、市の財政力が衰退し、市民サービスが低下します。今こそ、市民のまちづくりへの参加が必要です。

サロンに参加している市民の方は、いろいろな立場の方と交流し、自由討論を通じて、泉南市を良くしようと努力しています。

さて、今回のサロンは、まず職員から平成24年10月に制定した泉南市自治基本条例について、資料をもとに説明がありました。条例では、社会情勢や地域社会の状況を勘案し、おおむね4年ごとで見直しを行い、必要であれば



改正するとの規定があることから、サロン参加者に対して、意見を伺いたいとのことでした。その結果、社会情勢などについては、制定時と大きく変わっていないということになり、改正は必要ないのではという意見になりました。しかし、今後は条例に基づいた運用が大事との話になりました。次に今まで発行した「市民協働かわら版」は、見出しがなく、わかりにくいとの指摘があったので参加者自らの感想を取り入れたかわら版を発行するということになりました。また、もつとこのサロンを啓発していくことや、かわら版を普及させることが大切であるとの意見もありました。また、今回のサロンに提出された参加者からの資料について議論となり、それぞれの地区には、地区特有の特色や課題がある。まちづくりを進めるうえでも同様のことがある。サロンに参加し、いろいろな情報を収集・共有し、それを発信することで次に繋げていく。また、それぞれがそれぞれの立場・役割を理解した上で、サロンに参加するべきとの意見や、そのようなサロンを開催することで、市民の方々が注目し、参加に繋がっていくことになるとの意見がありました。』

今回は七月二十七日(水)午後一時三十分から旧新家幼稚園で開催する予定です。多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

参加を待っているでござる!



泉南市マスコットキャラクター  
せんなんくまじろう  
「泉南熊寺郎」 “せんくま”